国宝 桜ヶ丘銅鐸・銅戈群 発見60年

当館所蔵の桜ヶ丘銅鐸・銅戈群は昭和39年(1964)12月10日、 由に貴重な資料群として、昭和45年、国宝に一括指定されました。 ション展示室でお待ちしています。 発見後の迅速な対応によって、散逸することなく修理・保存できた ことは、この資料群にとって幸いなことだったといえます。

銅鐸は、弥生時代の農耕にかかわる祭祀の道具として使用 したと考えられている青銅器です。内側に「舌」とよばれる棒を 吊り下げ、揺らすことで音を鳴らします。桜ヶ丘銅鐸の中でも製 作時期の古い1号や2号銅鐸の内面には、舌があたることですり 減った痕跡があります。

桜ヶ丘銅鐸の中でも特に注目されるのが、4号・5号銅鐸です。 両銅鐸は四区袈裟襷文銅鐸とよばれ、鐸身片面に4つ、両面で 8つの区画が設けられています。それぞれの区画にはいわゆる 「絵画」とよばれる人物や、鹿、鳥、カエル、トンボ、カマキリなどの モチーフが鋳出されています。この絵画は弥生時代の生活をう かがい知ることができる貴重な資料となっています。

現在は錆に覆われた緑青色の銅鐸ですが、本来は金色に輝 神戸市灘区桜ヶ丘町の山中にて土砂採取作業中、偶然に発見 いていました。須磨区にあった神戸市立考古館から当館コレク されました。銅鐸14点、銅戈7点が一括して埋められていたこと、ションの要として受け継がれた桜ヶ丘銅鐸・銅戈群。発見から60 一部の鐸身に人物や動物が鋳出されたものがあることなどを理 年の節目の年に、弥生時代に想いをはせてみませんか。コレク



桜ヶ斤5号銅鐸B面(部分) 弥牛時代中期 当館蔵

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 TEL.078-391-0035 FAX.078-392-7054 https://www.kobecitymuseum.jp/

利用案内

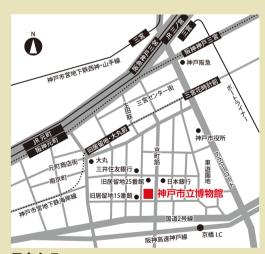
開館時間:午前9時30分~午後5時30分 ※金、土曜日は午後8時まで開館

(2F、3Fの展示室への入場は閉館の30分前まで) 休 館 日:毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日または休日の場合は 開館し、翌平日に休館)

※年末年始のほか、整備休館など臨時に休館及び開館することがあります。 観覧料については当館ホームページをご確認ください。 高校生以下は無料です。



神戸市立博物館は、昭和10年(1935)に建築された旧横浜正金銀行神戸支店 を増改築し、昭和57年に開館しました。御影石の外装を施した新古典主義様式 の建物で、平成10年(1998)に国の登録有形文化財(建造物)になりました。



アクセス

■JR「三ノ宮」、阪急・阪神「神戸三宮」、ポートライナー・地下鉄 (西神・山手線) [三宮|から南西へ徒歩約10分 ■新幹線「新神戸」から神戸市営地下鉄(西神・山手線)で「三宮」下車

■神戸空港からポートライナーで約18分、「三宮」下車

■IR、阪神「元町 | から南東へ徒歩約10分 ■地下鉄(海岸線)「旧居留地・大丸前」から南東へ徒歩約8分







X·Facebook 神戸市立博物館公式ホームページ▶



神戸市立博物館だより No.125 発行年月日: 令和6年(2024)8月30日

展覧会スケジュール 2024.9 - 2025.3

2025年 1月 January 9月 September 10月 October 11月 November 12月 December 2月 February 3月 March 9/14(±) 12/8(H) 3/23(F) $2/1(\pm)$

【特別展】 デ・キリコ展

【特別展】「古地図からひろがる世界 -南波松太郎・蒐集70年の軌跡-」 【特別展】日本銅版画 30の極み



階階

国宝 桜ヶ丘銅鐸・銅戈群 実物展示

重要文化財 聖フランシスコ・ザビエル像 実物展示 ■9月14日(土)~11月4日(月・振休)

※その他の期間は複製展示

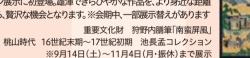


3/23(H)

9/14(+)

南蛮屏風とその時代

神戸市立博物館の南蛮美術コレクションの代名詞とも言うべき南蛮屏風 が、コレクション展示に初登場。雄渾できらびやかな作品を、より身近な距離 感で鑑賞できる、贅沢な機会となります。※会期中、一部展示替えがあります





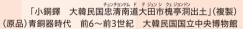
国絵図の系譜

江戸幕府は、日本全国を支配するにあたり旧国ごとの地図「国絵図」を作 製させました。国絵図は各国の地理を把握するのに有用であったことか ら、多数模写されました。本展では、江戸幕府撰国絵図に連なる地図を紹 「和泉国絵図」 江戸時代前期 南波松太郎コレクション

桜ヶ丘銅鐸・銅戈群発見60年 銅鐸の源流

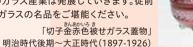


銅鐸は弥生時代の農耕にかかわる祭祀に使用したと考えられる青銅器です。その祖 型は中国・朝鮮半島の銅鈴などに求められますが、銅鐸とはやや形状が異なってい ます。日本で「銅鐸」となった青銅器のルーツなどを紹介します。



和ガラス名品撰ー近代編

当館のガラス工芸品は江戸時代の作例だけではありません。明治時代以降、欧米の 成形や装飾の技法を採り入れることで日本のガラス産業は発展していきます。従前 の技法を用いた過渡期の作例を含め、近代和ガラスの名品をご堪能ください。



※定休日の他、年末年始、1月27日~31日は休館

12/8(日) 12/24(火)

時を告げるからくり一和時計の世界 日本に機械時計がやってきたのは16世紀半ば頃のこと。当時用いられ

ていた不定時法に合わせ、和時計は独自の発展を遂げました。江戸時 代に製作された和時計や、その職人たちの優れた技術を紹介します。

> 御幡栄三、河村南嶺「時計図案帳」(部分) 江戸時代 18世紀後期~19世紀前期 池長孟コレクション

阪神・淡路大震災30年 災害の記録

地震、火事、洪水・・・さまざまな災害の様子を描いた資料を展示しま す。阪神淡路大震災から30年を迎えるいま、改めて災害について考 えるきっかけとなれば幸いです。 「大江戸大火之図」

江戸時代 文政12年(1829)頃 南波松太郎コレクション

秀吉文書の移り変わり

日本史上随一の発給数を誇る秀吉文書。当館所蔵の秀吉文書か ら、形態や書き方の移り変わりに注目し、秀吉の生涯のみならず、 古文書を読み解く楽しさにも迫ります。

「豊臣秀吉朱印状」 天正20年(1592)

12/24(火) ※定休日の他、年末年始、1月27日~31日は休館

びいどろを飾る一ぎやまん彫り 硬質の石がついた棒状の工具を使って、ガラスの表面を引っ

掻くようにして花や鳥の文様を彫り込む装飾技法「ぎやまん 彫り」。細かい線刻を連ねた精緻なデザインを、ぜひ会場で!

> 「ぎやまん彫り梅枝文緑色ガラス手付水注 江戸時代(1772-1844) びいどろ史料庫コレクション



新規収蔵美術コレクションを中心に

2/18(y)

「池長孟コレクション」「びいどろ史料庫コレクション」 などを中心に、諸外国の影響を受けた日本の美術品が ら構成される当館の美術コレクション。その中から 2022年以降に新たに加わった作品をお披露目します。

鼓嶽山人筆 「薔薇に黄鳥金角図」(部分) 宝暦9年(1759)

受贈記念展示 旧御影小川瑳五郎邸残照

地域文化財展示室と連動し、旧御影小川邸の 資料を展示します。 旧小川邸 1階ホールステンドグラス

中世の大きな土器一壺と甕一

土器は役割に応じて様々な形をして、大きさも多種多様で す。中でも「溜める」「蓄える」機能を備えている壺や甕は、 サイズが大きいものもつくられました。当館が所蔵する中 世日本の大きな土器を紹介します。

「東播系須恵器 甕」 鎌倉時代後期

2/11(火・祝)

彩られたガラス

ガラス器はそれだけで美しいものですが、焼付技法(エナメル彩 など)や蒔絵によって彩りを添えられることも。花や鳥などを描 くことで、新たな魅力をまとったガラス器をお楽しみください。

> (絵付)松浦玉圃「型吹き焼付桜に雀図ガラスコップ」 明治時代中期(1883-96) びいどろ史料庫コレクション



3/23(H)

2/18(火) 3/23(H)

神戸の歴史展示 海や港を介して営まれた神戸の歴史と文化交流について、年代別に展示しています。

 $9/14(\pm)$

南北朝内乱期の神戸を辿るⅡ

 $9/1 \sim 13 \cdot 17 \cdot 24 \cdot 30$

延元元年(建武3年、1336)に起こった湊川の戦いなど、神 戸は南北朝内乱の舞台となりました。市内の名所・旧跡や 地名、語り継がれた逸話などから、内乱の様相を辿ります。

歌川芳虎「楠湊川大合戦之図」

10/7 • 15 • 21 • 28



11/5 • 11 • 18 • 25

12/8_(B)

12/24(火) 2/16(H) ※定休日の他、年末年始、1月27日~31日は休館

こうべの瓦一房王寺廃寺

古代、瓦は寺院や宮・宮殿の屋根を飾るものでした。このため、古 代の瓦がみつかる場所はそれらがあった証拠となります。縁あっ て当館収蔵資料となった室内遺跡(房王寺廃寺)出土の瓦を中心 に古代の瓦をご紹介します。



受贈記念展示 旧御影小川瑳五郎邸残照

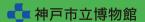
兵庫県医師会初代会長・小川瑳五郎の自邸 に使用されていたステンドグラスや照明器 具、家具などを展示します。阪神間モダニ ムの上質な生活様式をお楽しみください。

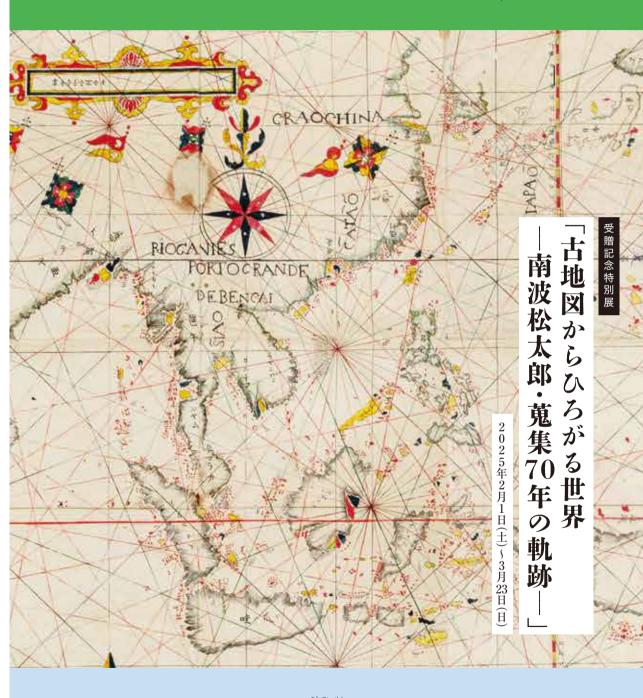


$12/2 \cdot 9 \sim 23 \cdot 29 \sim 31$ $1/1 \sim 3 \cdot 6 \cdot 14 \cdot 20 \cdot 27 \sim 31$ 2/3 • 10 • 17 • 25 $3/3 \cdot 10 \cdot 17 \cdot 24 \sim 31$

博物館だより

KOBE CITY MUSEUM





主にヨーロッパで用いられたポルトラーノ型海図の写し。航程線が放射線状 に伸びるのが特徴です。このような航海図は、日本では朱印船貿易を通じて 伝来したとされるため、「御朱印船航海図」などと呼ばれることもあります。「支 那」の近くに描かれる旗は、ポルトガル十字旗です。原図はポルトガルの航海

図だったのかもしれません。

東亜航海図(部分)

当館蔵(南波松太郎コレクション)

「古地図からひろがる世界 南波松太郎・蒐集70年の軌跡―」 圖之野分文天

2025年2月1日(十)~3月23日(日)

神戸市立博物館は、日本屈指の質と量を兼ね備えた古地図資料を所蔵しています。 その礎の一つが、当館開館時に寄贈されたおよそ4.000点の南波松太郎コレクションです。 そして令和5年度に、南波松太郎のご遺族より、新たに2.639件5.328点の資料を寄贈いただきました。

南波松太郎 (1894-1995)とは?

明治27年大阪生まれ。生来、いろいろなものを集めることが好きだった南波は、旧制中学校の 同級生であった秋岡武次郎に誘われて、古地図の蒐集をはじめたといいます。東京帝国大学 卒業後は三菱造船神戸造船所に勤め、東京帝国大学教授、神戸商船大学教授、大阪産業大 学教授などを歴任。「私の専門は船舶工学で、地理や歴史ではありません」と本人が語ってい ますが、生涯を通して蒐集・形成したコレクションは日本有数のものでした。



●●● 展示品の一部をご紹介 ●●●

拾箇国絵図

宝永~正徳年間(1704-16)頃 当館蔵(南波松太郎コレクション)

読んで字のごとく、10の国(旧国)を描いた地図です。た だし、国ごとに情報量に差があり、河内国や摂津国など は詳細に、紀伊国や大和国などはほとんど情報がありま せん。昭和44年(1969)に出版された古地図の大著『日 本の古地図』(創元社)に掲載されており、南波所蔵と して知られていましたが、彼の没後はどこにあるのか明 らかではありませんでした。このたび寄贈されたコレクシ ョンのなかから発見し、嬉しかったものの一つです。





当館蔵(南波松太郎コレクション)

タイトルの「無人嶋」は小笠原諸島のこと。文禄2 年(1593)頃に「発見」された小笠原諸島は、19 世紀にいたるまで無人島でした。延宝3年 (1675)、船乗りであった島谷市左衛門は、幕府 の命令によって無人島を探検します。本図はそ の成果として作成された図の写し。鳥や木々が 可愛らしく描かれています。









本展は、このたび寄贈された南波松太郎コレクションのなかから、優品を選りすぐり、初めて広く公開す るものです。古地図をこよなく愛した南波松太郎を偲ぶとともに、コレクションの魅力に触れる機会とな れば幸いです。

天文分野之図(左) 保井春海 延宝5年(1677)

天文分野之図 板木(右)

当館蔵(南波松太郎コレクション)

南波松太郎の蒐集対象は、古地図に

留まりません。関連する分野―例えば、

天文、測量、和算などの資料も蒐集し

充実したコレクションを形成しました。天

文学者・保井(渋川)春海が作った「天

文分野之図」は、江戸時代の星図とし

て大変著名ですが、板木の類は知られ

ていませんでした。「まさかこんなものま

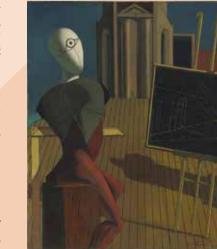
で蒐集されていたとは…」と驚きました。

腕のない不気味なマヌカン(マネキン)。遠近法を無視し た不思議な空間で、イーゼルを前に何を考えているので しょう。《予言者》と題される本作品は、見れば見るほどそ の謎めいた魅力に惹き込まれます。

作者は20世紀を代表する巨匠の一人、ジョルジョ・デ・キ リコ(1888-1978)。1910年頃から、簡潔明瞭な構成で広 場や室内を描きながらも、歪んだ遠近法、一見すると脈 絡のないモティーフの配置、幻想的な雰囲気によって、日 常の奥に潜む非日常を表した絵画を描き始めます。後に 「形而上絵画」と名付けた1910年代の作品は、サルバド ール・ダリやルネ・マグリットといったシュルレアリスムの 画家をはじめ、数多くの芸術家に衝撃を与えました。

本展はデ・キリコのおよそ70年にわたる画業を「イタリア 広場」「形而上的室内」「マヌカン」などのテーマに分け、 初期から晩年まで余すところなく紹介。さらに彼が手掛 けた彫刻や舞台美術も展示します。デ・キリコの展覧会 は関西では約20年ぶりの開催であり、本展は日本にお ける過去最大級の大回顧展になります。デ・キリコ芸術 の全体像に迫り、その唯一無二の表現力を堪能できる またとない機会となるでしょう。

2024年 9月14日(土)~ 12月8日(日)

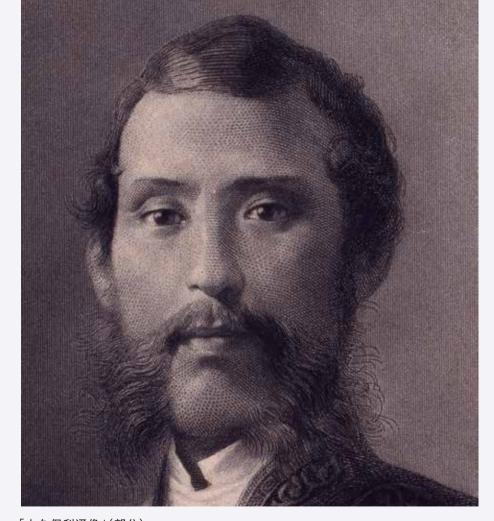


《予言者》 1914-15年 油彩・カンヴァス (James Thrall Soby Bequest) © Giorgio de Chirico, by SIAE 2024

日本銅版画 30の極み

2025年2月1日(土)~3月23日(日)

日本の版画は、浮世絵版画に代表される木版画が広く知られていますが、これとはまったく異なる表現美をも つ銅版画も長い歴史があります。天明3年(1783)に司馬江漠が開発した腐蝕銅版画(エッチング)は、その 細密な技法で一世を風靡し、幕末から明治にかけて近代的な版画表現を先導する存在になりました。 神戸市立博物館には、日本製銅版画について屈指の質量をほこるコレクションがあります。本展ではその優 品と、めったに紹介されることのない逸品30点を厳選し、肉眼では確認できないような細部まで、その魅力を 深掘りして紹介します。



「大久保利通像」(部分) エドアルド・キヨッソーネ 大蔵省印刷局 明治12年(1879) 当館蔵(池長孟コレクション)

新収蔵資料

お がわ さ ご ろう 旧御影小川瑳五郎邸関連資料



旧御影小川瑳五郎邸基礎データ

旧所在地:神戸市東灘区 御影2丁目6-12 築年:昭和5年(1930) 敷地面積:344.77㎡ 構造形式:木造2階建 面 積:1階 138.64㎡ 2階 92.23㎡ 延床面積:230.87㎡ 設計:置塩建築事務所 施 工:竹中工務店

旧御影小川瑳五郎邸 竣工当時の写真(小川家より提供)

東灘区御影に存在した、兵庫県医師会初行 会長である小川瑳五郎自邸の関連資料です。 御影は、大正9年(1920)阪神急行電鉄神戸 線の開業や、大正12年の関東大震災の影響 等により、豪商や知識人が自邸・別荘を構え る地となり、西洋文化をベースとした近代的 な芸術・文化・生活様式、いわゆる「阪神間モ ダニズム」が息づくまちとなりました。

阪神間モダニズム建築を代表する建築と: いえる小川邸には、ステンドグラスや、瀟灑 な照明器具、ベイウインドウにあわせて配置 することを目的とした作りつけの家具等が 良質な状態で保存されていました。この度、 ご遺族のご厚意により、設計図面とともに、 それらを当館に寄贈いただくことになりまし た。近代神戸の建築や生活の実態を肌感覚 で感じていただく資料として、また近代日本 のガラス工芸史を考察する資料として、折り ふれて大切に展示していきたいと思います まずは2月18日(火)より常設展示で展示いた ます。100年ほど前の神戸の空気漂う空間に、 是非足をお運びください。(川野 憲一)

